

延岡市職員採用試験（前期日程）受験申込書

延岡会場用

(履歴票)

試験区分	1 一般事務職 I (大卒程度) 2 土木技術職 (大卒程度) 3 建築技術職 (大卒程度) 4 機械技術職 (大卒程度) 5 化学技術職 (大卒程度) 6 土木技術職 [社会人経験者] [免許・資格職] 7 学芸員 [歴史・民俗] [免許・資格職] 8 学芸員 [美学工芸] [免許・資格職]				※ 受験番号	
	受験職種の番号を○で囲んでください				( ) - 番	
ふりがな					性別	生年月日 (○で囲む)
氏名						昭和 年 月 日 平成 年 月 日 (令和3年4月1日現在 満 才) ●来年の4月1日の年齢を記入
フリガナ						
メールアドレス	@					
受験票等送付先 (現住所等)	〒 -					
アパートや寮の場合は、建物の名称や号室まで正確に記入してください。	電話番号1 ( - - ) 電話番号2 ( - - )					
連絡先 (帰省先等)	〒 -					
受験票等送付先以外に連絡先がある場合は記入してください。	電話番号 ( - - )					
最終学歴	学校名 <注意>5参照	学部名	学科名	在学期間	区分 (○で囲む)	
				平成・令和 年 月 日 平成・令和 年 月 日 ( ) 年在学・中退	卒業・卒業見込・	
学芸員の受験者のみ記入			学芸員資格の取得時期			
学芸員資格	資格取得時期または取得見込時期を記入すること		時期( 年 月 取得・取得見込 )			
履修科目	履修した科目の番号を○で囲むこと		1. 「歴史学」 2. 「日本民俗学」 3. 「美学・美術史」			
受験時の要望事項						
上記のとおり相違ありません。 令和2年 7月 日						
延岡市長 読谷山 洋司 様 氏名 ㊟						

- <注意> 1 ※印欄を除く必要欄に、自筆によりかき書ではっきり記入してください。  
2 記入は黒か青のインク又はボールペンを使用し、数字は算用数字を用いてください。  
3 記載事項に不正があると、職員として採用される資格を失うことがあります。  
4 「年齢」は来年の4月1日時点の年齢を記入してください。  
5 「最終学歴」については最後の学歴ではなく、最も高い学歴について記入してください。  
6 押印が漏れていないか確認をお願いします。

▼. 土木技術職[社会人経験者]の受験者は、受験資格に関することについて、裏面に記入してください。

延岡市職員採用試験（前期）

写真票

試験区分	
1 一般事務職 I (大卒程度) 2 土木技術職 (大卒程度) 3 建築技術職 (大卒程度) 4 機械技術職 (大卒程度) 5 化学技術職 (大卒程度) 6 土木技術職 [社会人経験者] [免許・資格職] 7 学芸員 [歴史・民俗] [免許・資格職] 8 学芸員 [美学工芸] [免許・資格職]	
※ 受験番号	( ) - 番
ふりがな	
氏名	
性別	

写真貼付欄  
縦4cm・横3cm  
最近3ヶ月以内に撮影(上半身・脱帽・正面向)したもので本人と確認できるもの

(注) 申込の際に写真を貼っていないものは受け付けません。

	第1次	第2次	第3次	
※ 確認	総合能力	Web面接	専門	小論 面接

延岡市職員採用試験（前期）

受験票

試験区分	
1 一般事務職 I (大卒程度) 2 土木技術職 (大卒程度) 3 建築技術職 (大卒程度) 4 機械技術職 (大卒程度) 5 化学技術職 (大卒程度) 6 土木技術職 [社会人経験者] [免許・資格職] 7 学芸員 [歴史・民俗] [免許・資格職] 8 学芸員 [美学工芸] [免許・資格職]	
※ 受験番号	( ) - 番
ふりがな	
氏名	
性別	
1 試験日時 (第1次試験) 令和2年8月16日 (日) 午前 8:30 着席 午前 9:00 試験開始	
2 試験会場 延岡市役所本庁舎 (延岡市東本小路2番地1)	
< 受験心得 >	
○ 受験の際は、必ずこの受験票を持参してください。	
○ 集合時間を厳守してください。遅刻した時は受験できない場合があります。	
○ 試験会場では、必ずマスクを着用してください。	
○ 筆記具を持参してください。	
○ 災害などのため日時・会場が変更となる場合は、延岡市ホームページ及びメールでお知らせします。	

延岡市総務部職員課  
☎882-8686  
延岡市東本小路2番地1  
Tel. 0982-22-7007

●受付後、速やかに受験票を返送しますので、届かない場合は至急ご連絡ください。

## 「土木技術職〔社会人経験者〕〔免許・資格職〕」受験資格記入欄

土木技術職〔社会人経験者〕〔免許・資格職〕を受験する場合、以下の内容をご確認ください。

### ● 受験資格

次の要件のいずれにも該当する者。

- ① 平成27年7月1日から令和2年6月30日までの間に、民間企業などにおいて通算3年以上の土木技術に関する「計画」・「設計」・「施工管理」のいずれかの実務経験を有する者。
- ② 2級以上の土木施工管理技士資格を有する者、または令和3年3月31日までに資格取得見込みの者。

### ※①実務経験期間について

- ・ 会社員、公務員、団体職員などの正規社員または正規職員(有期雇用、嘱託、臨時、アルバイト、パートタイムなどは除く。)として、同一事業所で1週間につき、30時間以上の勤務を6か月以上継続して就労していた期間のうち、土木技術に関する「計画」・「設計」・「施工管理」のいずれかの実務に従事した期間が該当し、それらの実務経験のみ、期間を通算することができます。
- ・ ただし、連続する1か月以上の休業(病気休暇・休職、育児休業、介護休業など)により実際に業務に従事しなかった期間がある場合は、就業規則などで認められたものであっても、就労が中断されたものとみなし、継続して就労していた期間とはなりません。
- ・ 通算3年以上の実務経験期間が必要です。6か月以上継続して就労していた期間が複数ある場合は、そのうちの実務経験期間を通算することができます。また、同一の期間に複数の事業所で実務に従事した場合は、重複している期間のいずれか一方を実務経験期間とします。

① 平成27年7月1日から令和2年6月30日までの間で、民間企業などにおける通算3年以上の土木技術に関する「計画」・「設計」・「施工管理」のいずれかの実務経験期間を記入してください。

受験資格に該当する実務経験期間	在職期間	受験資格 該当日数	勤務先名	職務内容(簡潔に)	一週間の 勤務時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	(注) 左記内容を参照のうえ、記入してください。				

② 2級以上の土木施工管理技士資格の種類を○で囲み、取得時期(見込)を記入してください。

土木施工管理技士	資格種類を○で囲むこと		資格取得時期または取得見込時期を記入すること
	1級	2級	(      年      月 取得 ・ 取得見込      )